

令和2年度定期総会を開催しました

去る、5月28日（木）午後7時木之本まちづくりセンターで木之本地区地域づくり協議会の定期総会を開催しました。

本年は、新型コロナウイルス感染症の影響で書面での総会決議の準備を進めてきましたが、自粛規制が解除され、コロナウイルス感染症対策をとりながらの総会となりました。

総会では、令和元年度の事業報告と決算報告がされ、引き続き令和2年度の事業計画と予算の審議があり、すべて原案通り承認をされました。

本年度も様々な取り組みを計画していますが、コロナウイルス感染症の拡大の予測は計り知れず、今後は状況を見ながら事業を進めていきます。不測の事態で中止になる場合がありますのでご了承ください。

コロナウイルス感染症を恐れすぎず、うまく付き合いながら事業を進めたいと思います。



■ 三密を避け大きく間をあけながらの総会



「チャレンジ・
ザ・コロナ」

で頑張ります。

木之本地区

地域づくり
協議会だより

第 9 号

< 発行 >

木之本地区
地域づくり協議会

< 事務局 >

木之本まちづくりセンター

各部会活動の報告と今年度の計画について

自治会部会

【元年度】 他部会での事業取り組みのPR等に積極的に協力しました。

【2年度】 他部会との合同での取り組みや他部会事業に今年度も全面的に協力していきます。

保健福祉部会

【元年度】 昨年度に引き続き、健診受診率アップ事業の取り組みとして「健康講演会」を開催。

湖北病院の納谷院長、長浜病院の田久保がん対策推進室管理監をお迎えして演題「がん」の話を聴かせていただきました。

【2年度】 「健康講演会」を開催するとともに命のバトン事業に自治会部会と共同で取り組みます。



■ 昨年8月の講演会の様子。
多くの方に聴講いただきました。

教育・文化・スポーツ部会



■ 昨年8月の「親子プログラミング教室」

【元年度】 自治会へ出向いて出前講座を4自治会で実施しました。その他、歴史講座を3講座、親子対象の事業を1講座取り組みました。また、発足時から続けている「ウォッチングウォーク」も実施しました。

【2年度】 引き続きウォーキング事業を行います。また、長浜市北部のスポーツ拠点として、旧伊香体育館を増改築整備された「長浜伊香ツインアリーナ」を利用したのニュースポーツ大会（10月予定）を開催します。

生活環境部会

【元年度】 防災グッズの見本を購入し、まちづくりセンター 1 階ホールに展示しPR活動をしました。また、各自治会・町内会の防災関係者を集めての「地域防災研修会」を開催しました。

【2年度】 安心・安全な地域づくりの継続事業として、昨年度実施した「地域防災研修会」を対象者を広げて開催します。また地域外研修として近隣の防災センター訪問を計画しています。



■ まちづくりセンター
1 階ホールの展示ケース



■ 本年1月の「地域防災研修会」の様子

産業振興部会

【元年度】 地元の隠れた資源を有効利活用することで始めた日吉座での「きのもと映画祭」を開催しました。

古き良き時代のノスタルジーを感じることが出来ました。

【2年度】 今年度も引き続き「きのもと映画祭」(来年1月予定)を実施します。

35ミリフィルムの音、雰囲気をお楽しみいただきたいと思います。



■ 昨年8月の映画会の様子

この地域づくり協議会だよりが発刊するころ、コロナ禍が落ち着いているか、再度深刻な状況になっているか全く予測が立ちません。まだまだ対策は必要です。コロナ後の新しい生活様式を国も推奨していますが、今一度いろいろな注意点を提示して、「コロナに負けるな」「コロナとうまく付き合おう」を合言葉に地域づくり協議会も事業を推進していきます。

● 会議や集会では

- マスク着用
- 会議室の出入り口に消毒剤を設置
- 三密を避ける (密閉・密集・密接)

会議室は収容人員の半分の人数で使用

会議はできるだけ早く終了

会議中、半時間に1回は窓を開け換気

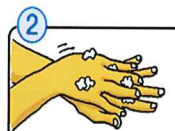
● 家庭では…手洗いの徹底

【正しい手の洗い方】

ツメは短く切り、時計や指輪ははずしましょう。帰宅時、調理や食事の前などにこまめに手を洗いましょう。



流水でよく手をめらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのばすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗ったあとは、清潔なタオルやペーパータオルでしっかりふきましょ。

(厚生労働省ホームページより)

■ 木之本まちづくりセンターの連絡先は

☎82-5915 Fax82-5903

E-mail : kinomoto-machisen@za.ztv.ne.jp